

あいさつ運動を通して、人とのつながりを深める

ねがい

〈目的〉

社会連帯の精神を持ち、地域に貢献できる児童生徒を育てるために、進んであいさつすることを大切にしながら、小中が連携してあいさつ運動を行うことにしました。

〈内容〉

つながり

● 児童会・生徒会による連携協議会の開催

小学校と中学校が合同であいさつ運動を行うこととなり、児童会が中学校を訪れ、生徒会との連携協議会を開催しました。

日時や、具体的な実施方法についての協議を行い、あいさつ運動で気をつけると良いことについて、生徒会からアドバイスなどがありました。

● 小中合同あいさつ運動

小学校は担当の委員会、中学校は生徒会が中心となって、それぞれ定期的なあいさつ運動を行ってきましたが、本年度は小中連携スクールプログラムの活動の一環として、合同であいさつ運動を行うことにしました。

小学校で月に一回行われている、健全育成連絡協議会を中心とした、地域の方々と保護者が参加する登校指導とあいさつ運動に合わせて、一週間生徒会が小学校を訪問しました。

小学校の児童会や担当の委員会、中学校の生徒会が正門と南門に分かれ、地域の方々とともに、ハイタッチをしながらあいさつをするなど、積極的に明るく元気なあいさつができました。



【児童会・生徒会による連携協議会の様子】



【小中合同であいさつ運動している様子】

高まり

〈成果〉

こうした取り組みを通して、大きな声をだして積極的にあいさつができるようになってきています。特に、学校周辺で地域の方々にも自分からあいさつができる生徒も見られるようになりました。

今後は、一層効果的な取り組みとなるよう、継続的で双方向的な（生徒会が小学校に行くだけでなく、児童会も中学校のあいさつ運動に参加するような）活動にしていきたいと考えています。